

製品安全データシート

整理番号： AB-P01-JP0

作成： 2013/12/5

改訂： 2014/3/7

製品名： ポテカッター消毒液

1. 化学物質等及び会社情報

製品名： ポテカッター消毒液
会社名： 出光興産株式会社
住所： 東京都千代田区丸の内三丁目1番1号
担当部門： アグリバイオ事業部アグリ事業一課
(TEL:03-6895-1332, FAX:03-6895-1334)

2. 危険有害性の要約

<危険有害性分類>

急性毒性(経口)：	区分外
皮膚腐食性/刺激性：	区分1
眼損傷性/刺激性：	区分1
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)：	区分1

<危険有害性ラベル要素>

絵表示：



注意喚起語：	危険
危険有害性情報：	皮膚刺激 重篤な眼の損傷 <作用を受ける臓器(腎臓)>の障害
注意書き：	予防策： すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 取り扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
対応：	暴露した場合、医師に連絡すること。 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。 特別な処置が必要である。(このラベルの注意事項を参照)。
保管：	施錠して保管すること。
廃棄：	内容物/容器を都道府県の規則に従って廃棄すること。

製品安全データシート

整理番号： AB-P01-JP0

作成： 2013/12/5

改訂： 2014/3/7

製品名： ポテカッター消毒液

3. 組成及び成分情報

<単一製品・混合物の区別>

混合物

<成分及び含有量>

成分名称	含有量 mass%	CAS番号	化審法	安衛法		化管法	毒劇法
			官報公示 番号	官報公示 番号	通知物質	指定物質	毒物劇物
マレイン酸	15-25	110-16-7	2-1100	公表	非該当	非該当	非該当
水	75-85	7732-18-5	-	公表	非該当	非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合：

直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：

直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合：

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合：

直ちに医師に連絡すること。

必要に応じた速やかな治療と

直ちに医師に連絡すること。

必要とされる特別な治療の指示：

特別な処置が必要である。(このラベルの注意事項を参照)。

5. 火災時の措置

消火剤：

本品は不燃性である。周辺火災に応じた消火剤を使用する。

特有の消火方法：

本品は不燃性である。火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火活動は、風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。

消火を行う者の保護：

消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置：

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には保護具（暴露防止及び保護措置欄参照）を着用し、飛沫等が皮膚に付着しないようにする。

環境に対する注意事項：

環境への影響は小さいが、流出した製品が河川に排出されないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材：

ウエス、雑巾またはおがくず等で、できる限り空容器に回収する。その後を大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

<取扱い>

技術的対策：

『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

取り扱い後はよく手を洗うこと。

製品安全データシート

整理番号： AB-P01-JP0

作成： 2013/12/5

改訂： 2014/3/7

製品名： ポテカッター消毒液

局所排気・全体換気： 『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体排気を行なう。

注意事項：

安全取扱い注意事項： 吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

<保管>

適切な保管条件： 容器を密閉して換気の良い冷所で保管する。

施錠して保管すること。

安全な容器包装材料： 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

製品安全データシート

整理番号： AB-P01-JP0

作成： 2013/12/5

改訂： 2014/3/7

製品名： ポテカッター消毒液

8. 暴露防止及び保護措置

<許容濃度>

成分名称	厚生労働省(安衛法)	日本産業衛生学会	ACGIH		
	管理濃度	許容濃度	TLV-C	TLV-STEL	TLV-TWA
マレイン酸	未設定 ppm	未設定 ppm	未設定 ppm	未設定ppm	未設定 ppm
	未設定 mg/m3	未設定 mg/m3	未設定 mg/m3	未設定 mg/m3	未設定 mg/m3
水	未設定 ppm	未設定 ppm	未設定 ppm	未設定ppm	未設定 ppm
	未設定 mg/m3	未設定 mg/m3	未設定 mg/m3	未設定 mg/m3	未設定 mg/m3

<保護具>

呼吸器の保護具： 保護マスク
 手の保護具： 保護手袋
 眼の保護具： 保護メガネ（ゴーグル型）
 皮膚及び身体の保護具： 長袖作業衣

<適切な衛生対策>

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

<製品>

物理的状態： 液体
 形状： 透明液体
 色： 青
 pH： 0.6-0.8

10. 安定性及び反応性

安定性： 通常の保管および取扱時の密閉容器内では、室温で安定。
 危険有害反応可能性： 情報なし
 避けるべき条件： 過熱
 混触危険物質： 特になし
 危険有害な分解生成物： 加熱分解により一酸化炭素、二酸化炭素を生じる。

11. 有害性情報

<製品>

データなし

<成分>

マレイン酸

急性毒性（経口）： LD50： 708 mg/kg[ラット]
 急性毒性（経皮）： LD50： 1560 mg/kg[ウサギ]
 急性毒性（吸入）： LC50： > 0.18 mg/L[ラット]

製品安全データシート

整理番号： AB-P01-JP0

作成： 2013/12/5

改訂： 2014/3/7

製品名： ポテカッター消毒液

皮膚腐食性／刺激性：	Moderate [ウサギ]，動物への影響：ウサギを用いた試験で皮膚に軽度の刺激性、モルモットを用いた24時間の適用試験で中等度の刺激性と評価され、ヒトで著しい刺激を示すとの記載がある。
眼に対する重篤な損傷性／刺激性：	Severe [ウサギ]，動物への影響：ウサギ眼に1%あるいは5%溶液を2分間適用した場合は中等度から重度の刺激性と評価され (PATTY (5th, 2001))、ヒトで著しい刺激性を示すとの記載 (PATTY (5th, 2001))がある。
呼吸器感作性：	人への影響：データなし。
皮膚感作性：	EU R43, 人への影響：データなし。
生殖細胞変異原性 (変異原性)：	AMES試験:陰性
発がん性：	その他試験データ データなし。
生殖毒性：	その他 ラットに無水マレイン酸を経口投与した二世世代生殖毒性試験と妊娠ラットを用いた試験の結果から、マレイン酸の生殖・発生毒性が陰性であると推測されている (SIDS (J) (Access on Oct. 2008))。しかし、対象物質であるマレイン酸を直接用いた試験データではなく、また、無水マレイン酸を用いた試験の陰性結果についても内容の詳しい記述がない。したがって判断できないので分類できない。
特定標的毒性／全身毒性 －単回暴露：	ラット(雄)に200または400mg/kgを経口投与直後から腎臓の傷害(近位尿細管の傷害と壊死)が現れ、24時間までに広範な壊死に進行した (PATTY (5th, 2001))。また、近位尿細管の壊死は、イヌに9 mg/kg以上を経口投与した場合にも観察されている (HSDB (2003))。ラットおよびイヌともガイドランス値範囲区分1に相当する用量で腎毒性を示した。
特定標的毒性／全身毒性 －反復暴露：	ラットを用いた混餌投与試験に関して、28日間ばく露では高用量群(162.5mg/kg/day、換算値:50.5mg/kg)での体重増加抑制と全用量群での副腎重量の変化を除きばく露の影響についての記載はない (PATTY (5th, 2001))。また、2年間ばく露では中および高用量での体重増加抑制と全用量での死亡率の増加があったものの、催腫瘍性、対照群との毒性学的な差および特異的な病理所見は報告されていない (PATTY (5th, 2001))。一方、ラットに無水マレイン酸100mg/kg/日以上を90日間ばく露により腎臓の損傷を引き起こし、体内での加水分解によるマレイン酸の影響が述べられている (SIDS (J) (Access on 10. 2008))が、当該物質(マレイン酸)を直接用いた28日および2年の反復ばく露試験で認められていないので分類に採用しなかった。しかし、単回ばく露の結果を踏まえると発現用量についてなお疑義が残る。ばく露の方法の違い(強制と混餌)もあり、分類にはその点を明らかにしたデータが必要であり、したがって現状では分類できない。
水 吸引性呼吸器有害性：	人への影響：データなし。
急性毒性 (経口)：	LD50:> 90000 mg/kg[ラット]

12. 環境影響情報

<製品>

データなし

<成分>

マレイン酸

生態毒性

急性毒性 (魚毒性)：

96hrLC50: 75 mg/L[マス、ブルーギル]

製品安全データシート

整理番号： AB-P01-JP0

作成： 2013/12/5

改訂： 2014/3/7

製品名： ポテカッター消毒液

急性毒性（ミジンコ毒性）： データなし。
急性毒性（藻類成長阻害）： データなし。
慢性毒性（魚毒性）： データなし。
慢性毒性（ミジンコ毒性）： データなし。
慢性毒性（藻類成長阻害）： データなし。
残留性／分解性： 良分解性と判定(BOD:87%)
生体蓄積性： 生物濃縮性が低いと推測される(LogPow=-2.61(SIDS, 2004))。
水 土壌中の移動性： データなし。
データなし

1 3. 廃棄上の注意

廃棄方法： 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
内容物/容器を都道府県の規則に従って廃棄すること。

1 4. 輸送上の注意

国連番号	3265
国連分類	8
国内規制	陸上規制情報 該当しない 海上規制情報 船舶安全法の規制に従う。 航空規制情報 航空法の規制に従う。
特別安全対策	移送時にイエローカードの保持が必要。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
緊急時応急措置指針番号	重量物を上積みしない。 154

製品安全データシート

整理番号： AB-P01-JP0

作成： 2013/12/5

改訂： 2014/3/7

製品名： ポテカッター消毒液

1 5. 適用法令

消防法： 非該当
毒劇法： 非該当
安衛法： 非該当
化審法： 非該当
PRTR法（化管法）： 非該当
船舶安全法： 腐食性物質（危規則第3条危険物告示別表1）
航空法： 腐食性物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）
港則法： 危険物・腐食性物質（法第21条2、則第12条、昭和54年告示547別表）

1 6. その他の情報

免責文： 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、以上の情報は新しい知見により改訂されることがあります。
また、注意事項は通常取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。
記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。